

楽しく、自然に、「NPO生活」をはじめするための情報誌  
平成18年度 第2号

# NPOLIFE



発行 鳥取県×遠足計画

特集1◎ 動く・経験する・働く・実現する場所としての  
ボランティア・NPO

## 若者×NPO

「メッセージ」冒険家・中尾和則氏インタビュー / 「音楽日和」でボラン  
ティア体験! / 参加者・活動者の「声」 / 若者によるNPO・ボランティ  
ア団体一覧 / 鼎談「NPOは若者の就職先になる?」

特集2◎ アートと人をつなぐNPO

## ART NPO ってなに?

eco column 地球にやさしい第一歩を!

network column 開かれた社会のネットワーク

特集1◎ 動く・経験する・働く・実現する場所としての  
ボランティア・NPO

# 若者×NPO

「メッセージ」冒険家・中尾和則氏インタビュー／「音楽日和」でボランティア体験！／参加者・活動者の「声」／若者によるNPO・ボランティア団体一覧／鼎談「NPOは若者の就職先になる？」

## そもそもNPOって何？

「NPO」の直訳は「非営利組織」。つまり「営利」を目的としない団体の総称で、広くはボランティアグループからまちづくりグループ、アマチュア劇団や楽団もNPOだと言えます。

「非営利」は「余剰利益」、つまり事業や活動するのに必要な備品代や会場代、人件費などの経費を引いた残りの「儲け」をメンバーで分配しないということ。つまり、お金をまったくもらわないということではありません。逆に事業を続けていくための経費は得て、継続的な運営をしよう！ということなので、少しずつですが、「NPOで働く人」も増えてきています。

NPOもボランティアも、あるテーマについて活動することによって、社会を、地域を、市民の力でもっと良くしていこうというものです。そのテーマは福祉や子どもの健全育成、環境保護から、音楽や演劇などのアート、スポーツ、国際交流まで様々な活動があります。「社会」や「地域」というと大変なもののように思うけど、自分自身もその一員。社会をもっと良くすることは自分の生活をよくすることにも

なります。特に、そのテーマが自分が好きなこと、関心があることなら、それは、なおさら。そういう意味では、NPOは自分が好きなこと、関心があることを人に伝えていくことでもあります。

## 若者×NPOの可能性

今回の特集では、そんなNPOやボランティアの現場で活動する若者に活動の楽しさやメリットを聞き、さらにNPOを仕事にする、NPOに就職することの可能性についても考えてみました。NPOやボランティアでは、普通の仕事と違って金銭による契約関係がないことが多い分、人と人の関係、コミュニケーションがとても重要です。それは、それだけ様々な人と関わり、様々な経験を得られる場でもあるということです。また、一方でNPOは組織として、事業体としての面ももっており、それを体験する場にもなります。活動の場、経験の場、働く場、そして、自分の思いを実現する場としてのNPOについて、まずは、この特集と一緒に考えてみませんか。



まずは、もう活動している人にお話を聴いてみました。

その① 行動できる女性を育てる活動



鈴木 早紀子さん  
ガールスカウト  
鳥取県第1団

リーダーとして、みんなとキャンプをしたり交流センターで喫茶を運営しています。小学校のときに姉がいて楽しそうだったのを見て入りました。小さい頃からいろんな人と関わり、意見をいう機会も多かったので、**人に対して自分を表現する方法を学びました。**

リーダーになって「責任持つてみんなの面倒をみないといけない」とか、「自分が学んできたことをどう伝えたいか」とか、周りのことを考えるようになりました。入ってくれた子には、「**楽しい**」「がんばろう」って思っしてほしいです。

ガールスカウトは、**地域社会で自分で考えて行動できる女性を育てる団体**です。ガールスカウトをしていながら今の自分があるし、これからは続けていきたい。自分や家族がよければいいではなくて、**周りのことも考えて自立できる女性になりたい**ですね。

その② 地域に根ざした活動



長田 和之さん  
米子ロータアクトクラブ

米子ロータアクトクラブは、皆生トライアスロン大会にボランティアスタッフとして参加するなど地域に根ざした活動をする。また、さまざまな職業を持つものが集まり**同世代の仲間と語り合う場を持つこと**を大事にしています。

小さい頃にボーイスカウトをやっていたことからボランティア活動に興味はあり、知人に誘われて入りました。実際やってみるとこれまで会ったことのないような人に出会えるし、**がんばっている同世代の仲間を見ていると「自分も負けてられないぞ」と**思います。何より仲間の支えがあるからこそ活動を続けてこられてます。これからは、自分にもプラスになるような、仲間同士でお互いの力を高めあいながら地域の活力となれるような活動をしたいと思っています。とにかくやってみることって大事だと思いますよ。次のステップはそこで出会った人たちの力にひっぱられて進んでいけると思っています。

その③ 沖縄音楽を演奏する活動



森田 桂介さん  
ゆいま〜る

出身が沖縄ということで個人的に三線をしていたのですが、いつしか大学の仲間が集まって演奏するようになり、演奏会を機にリーダーとして「ゆいま〜る」という団体を立ち上げました。音楽を通してメンバーと一緒になれることや、演奏を聞いて下さった方たちに**喜んでもらえる**

**ことが一番の喜び**です。僕は地元を忘れたくない、地元に誇りを持ちたいと言う気持ちからこの活動をしています。何処の地域にも**すばらしい文化があるのだから今の若い人たちにも地元を誇りを**持ち、**守って**いってほしいです。

僕が五十歳になったときには、今以上でもなく以下でもなく、今と同じように楽しんでられたらなあと思います。もちろん**新しい仲間が増えていることは大歓迎**ですよ。

その④ フェアトレードの啓発活動



枝広 哲也さん  
FTSN中国※

中国地方で「フェアトレード（公正貿易）」という言葉をあまり聞かなかったことが設立のきっかけでした。代表として、活動しているみんなに負担にならない程度に、少しずつフェアトレードを広めていきたいと考えています。

他の団体とも協力しながら、イベント等を企画しています。活動をしてみて感じるのは、「**ネットワークがあるのはずいぶんいいな**」っていうこと。五十歳になる頃には「**波い人**」になっていた。フェアトレードとか知ってほしいけど、**その人が楽しければいいんじゃないか**と思います。

人にも地球にも優しいフェアトレード商品。ぜひ一度、手にとってみてください。◎FTSNはフェアトレード・スチューデント・ネットワークの略です◎

■ボランティア・NPOの活動から学ぶこと、身につけられること、得られることは、活動や人によってもいろいろです。次のページでは、実際の活動の様子をレポートします。